

阿蘇くじゅう国立公園 長者原ビジターセンターからお届けする

くじゅうだより

TAKE
FREE!

特集

くじゅうの紅葉を100%楽しもう

2019 秋号

表紙写真:男池散策道(大分県由布市)

くじゅうファンクラブ活動情報

*平成28年5月31日から、「くじゅう地区管理運営協議会」の通称名称が、「くじゅうファンクラブ」となりました。

皆さまのご支援で、
こんな活動をしています。

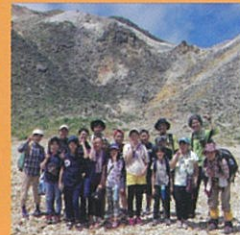
教育・
普及啓発

自然環境
保全・調査

登山道等
維持管理

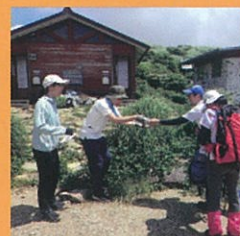
チームタデ原 坊ガツルキャンプ！

くじゅうの地元九重町の小中学生からなる「チームタデ原」。8月7～8日に、小学4年生から高校生までの13名で、法華院温泉山荘のバンガローに泊まっているいろいろな学習をしました。北千里では山からの水流に足をひたし、硫黄の塊を見つけ、モウセンゴケや粘土層も観察するなど盛りだくさん！なかなかできない貴重な体験でした。



「山のトイレをきれいに使い隊運動」

7月31日、大分県自然保護推進室の主催で、「山のトイレをキレイに使い隊運動」がおこなわれました。登山者に水の入ったペットボトルを運んでもらい、その水を使って、久住分れのトイレを掃除するというものです。山のトイレは、水がないこともあって日ごろなかなか掃除がいきとどきませんが、この日は念入りに掃除ができました！ご協力ありがとうございました。なお、トイレの使用については右下の「お願い」もご覧ください。



タデ原の野焼きの準備が着々と進んでいます！

9月3日・9月11日に九重・飯田高原観光協会の公私隊主催で、タデ原の防火線切りが行われました。これは春の野焼き時の延焼を防止するために、山ぎわの草を幅8m程度刈る作業です。防火線切りを行う範囲は数キロメートルにもわたり、とても大変な作業です。この後周りの草が青いうちに、切った草を焼く「防火線焼き」が行われる予定です。春の野焼きに向けて、準備が着々と進んでいます！くじゅうファンクラブでは、引き続き、地域の自然環境保全活動に協力していきます。



阿蘇くじゅう国立公園・タデ原レクチャー

＜参加費無料／要予約（団体向け）＞

学校などの団体向けプログラム。国立公園の概要やタデ原湿原についてなどのレクチャーを15分～30分程度で行います。お気軽にご相談ください。



タデ原の自然観察会

＜参加費無料／事前申込不要（個人の場合）＞

九重の自然を守る会のボランティアガイドによる人気のイベント。毎週日曜・祝日10:00～12:00に開催しています（12月～2月は隔週）。参加希望の方は10時までに、直接ビジターセンターへお越しください。学校などの団体の観察会は、平日も対応します。ご相談ください。



リレー式 職員からのひとこと

夏の暑さがやわらぎ、季節は秋へと変わりつつあるくじゅうでは、涼しい毎日が続いています。秋と言えば、やはり紅葉ですね。緑色だった山肌が、赤や黄色に変わってとてもきれいです。くじゅう連山は紅葉が美しい山が多くあり、その景色をみようとする方が登山に、来られる時期でもあります。色鮮やかに染まった山は、ミヤマキリシマの時や夏山とはまた違って素晴らしいです。そんな綺麗な景色が今年もみれたらいいなと思っています☆もちろん秋のタデ原も沢山花が咲いていますので散策するのもおすすめです♪(渡辺)

くじゅうだより2019秋号

発行元：くじゅうファンクラブ
(くじゅう地区管理運営協議会)

879-4911 大分県玖珠郡九重町大字田野255-33
長者原ビジターセンター

TEL & FAX 0973-79-2154

くじゅうファンクラブホームページ：
<http://kujufanclub.com/>

★くじゅうの最新の自然情報
などはフェイスブックで！
<https://ja-jp.facebook.com/choujabaruvistor/>

★活動報告やくじゅうの基本情報
などはくじゅうファンクラブ
ホームページで！
<http://kujufanclub.com/>



自然公園クリーン作戦&登山口等の草刈り作業

8月2日、長者原ビジターセンターのある九重町飯田高原一帯で「自然公園クリーン作戦」が行われました。この活動は毎年8月の第1週に、国立公園で一斉に美化清掃活動を行うものです。今年も地元の各観光協会や建設協会などから、200名近くが参加しました。また同日、九重飯田高原観光協会の公私隊により、牧ノ戸峠登山口周辺と牧ノ戸峠～長者原までの九州自然歩道沿いの草刈り作業が行われました。

皆様からいただいたくじゅうファンクラブへのご支援は、ゴミ拾い時の軍手や活動時のお茶の提供に利用させていただいています。



◀それぞれの持ち場に
分かれてゴミを拾
いました。
▶軽トラに積みきれ
ないほどのゴミを回
収しました。



登山口もきれいになりました



登山者の皆様へ引き続きお願いします

牧ノ戸峠から久住山へ向かう途中、「久住分かれ」にあるトイレは、パイオトイレとして微生物による浄化処理が行われていますが、処理能力には限界があります。近年、連休中やミヤマキリシマの時期に、許容範囲を超えた利用があり困っています。山岳トイレとしての特性をご理解のうえ、登山口のトイレを優先してご利用ください。



- ・久住分かれのトイレは緊急避難用です。「念のため」「とりあえず」といった利用はオーバーユースの原因になりますので、ご遠慮ください。
- ・維持管理に多大な労力が必要なため、協力金制(100円)としています。
- ・定期的に清掃を行っていますが、利用者が多い時には清掃がおつきません。
- ・水源は雨水と再生水です。水が流れないときには棒で押し込んでください。
- ・備え付けのトイレトーパー以外には使用しないでください。
- ・ごみは捨てないでください(生理用品含む)。
- ・登山の前には登山口のトイレで用を済ませて、携帯トイレを持参しましょう。



くじゅうファンクラブでは、上記のような教育普及・啓発活動、自然環境保全・調査活動、登山道等管理活動を実施しています。活動に賛同してくださる賛助会員（個人一口3,000円／年、団体一口10,000円／年）や寄付を募集しています。賛助会員の方には、会員証の発行のほか、缶バッジのプレゼント・お便りの送付などの特典を用意しています。詳しくはくじゅうファンクラブホームページ（左端にQRコード記載）をご覧ください。

長者原ビジターセンターへは



長者原ビジターセンターまで車で、 由布院から40分/九重ICから35分



タデ原湿原は、木道が整備され、秋の景色を眺めながらの散策に最適。湿原から続く森林のコースは、コシアブラやミズナラ、コハウチワカエデなどの色とりどりの紅葉が気軽に楽しめます。【長者原ビジターセンターからすぐ】



タデ原湿原



星生山

星生山の西面の紅葉は西日を受ける午後がおすすすめ。ドウダンツツジ類などが燃えるような赤に染まります。沓掛山や扇ヶ鼻の手前から眺められます。【牧ノ戸峠登山口から徒歩40～70分(片道)】



扇ヶ鼻・ナベ谷

沓掛山を過ぎて左手、扇ヶ鼻と間の通称「ナベ谷」は、カエデ類の見事な紅葉が見下ろせます。扇ヶ鼻から見る肥前ヶ城もおすすすめ。【牧ノ戸峠登山口から徒歩30～90分(片道)】

大船山頂の火口湖「御池(おいけ)」の周りは、ドウダンツツジ類、コミネカエデなどが色づき、まるで日本庭園のようです。くじゅう連山で一番早く紅葉が見ごろを迎えるエリアでもあります。【長者原登山口から徒歩4～5時間、大船山登山バス終点から2～2.5時間(いずれも片道)】

ここもおすすすめ
三俣山大鍋、小鍋を周回するお鉢巡りコースは上級者向き。経験者の同行の上で、迷ったら引き返す計画を立てよう！

10月～11月の坊ガツルは一面のススキ野原。風になびく草原の奥に、大船山がそびえたちます。【長者原登山口から徒歩2時間(片道)】

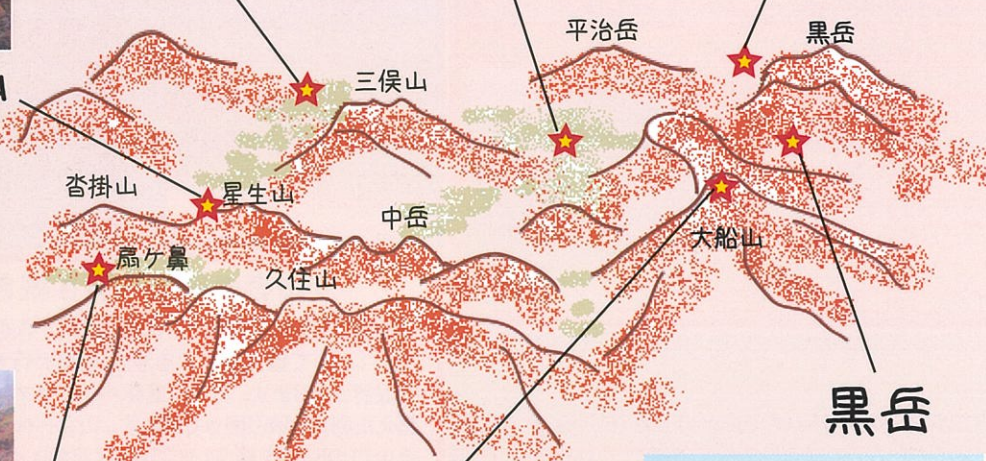


坊ガツル

駐車場から男池を通過してかくし水方面へ向かうと、コハウチワカエデやチドリノキなどの紅葉が圧巻！紅葉のトンネルの中を歩けます。【男池駐車場から徒歩10分、清掃協力金100円が必要】



男池周辺



黒岳

黒岳は全山が深い森におおわれ、折々の紅葉が楽しめます。山頂部はもちろん、風穴のまわりのセリグチ谷もおすすすめ。【男池登山口から徒歩2～3.5時間、今水登山口から2～3.5時間(いずれも片道)】

ここもおすすすめ
吉部登山口から入る「暮雨の滝」は徒歩で約1時間。紅葉と滝のコントラストが絶品です。途中急坂もあるので気をつけて！

くじゅうの紅葉おすすめスポット！

くじゅうの紅葉を100%楽しもう！

くじゅうがいちばん賑わうのは、初夏のミヤマキリシマの時期と秋の紅葉の時期。多くの登山者や観光客が、絶景を求めてやってきます！赤や黄色に色づいた木々に埋もれながら森を歩くと、日常を忘れた別世界にいるようです。今年は、植物の名前も調べながら、ワンランク上の紅葉散歩はいかがですか？

紅葉は標高が高いところから始まります。くじゅう連山は東の主峰大船山(1786m)から裾野の男池(800mほど)まで標高差1000mに及ぶ範囲に紅葉の見どころがあります。このため、紅葉の見ごろの時期も、山頂部の「十月中旬」から、山麓の「十一月上旬」まで、長い期間続くんです。

くじゅうの紅葉のスタートは、絶景の火口湖「御池(おいけ)」を擁する大船山頂部から。例年だと十月なかばごろに見ごろを迎えます。そして、段原(だんばる)、三俣山山頂部、黒岳などが続き、沓掛(くつかけ)山や風穴のあたりでは十月下旬。さらに長者原や男池の周辺では十一月上旬まで楽しめます。このころは、山すその広大な草原でゆれるススキの穂が銀色に輝く時期でもあります。そして十一月なかばには、山頂部ではやくも霧氷や初雪の便りが届きます。

おおよその時期はこんな感じといえ、年によって一週間程度は時期がずれるのもやはり紅葉の特徴。また、色づき始めの淡い雰囲気もよければ、登山道に散って足元を染め上げる落ち葉もまたすばらしいものです。「十月なかばから一ヶ月の間なら、どこかに行けば必ず紅葉が楽しめる！」と思うと、ワクワクしますね。ことは山に登りますか？ふもとの森や草原を散策しますか？

	10月	11月
	上旬	中旬
大船山頂		
三俣山頂		
星生山		
黒岳・風穴		
扇ヶ鼻・肥前ヶ城		
沓掛山・牧ノ戸峠		
長者原		
男池周辺		
九酔溪		

最新の紅葉情報はフェイスブックでチェック！
(裏面をご覧ください)

くじゅうできれいな紅葉を見せるのは、何の木でしょうか？

紅葉と言えはまず思い浮かぶのは「もみじ」の木。これは、正確にはムクロジ科のカエデのなかまです。くじゅうでは、コミネカエデ、コハウチワカエデ、ウリハダカエデ、チドリノキなどが、黄色や赤などそれぞれ独特の色合いで山を染めます。山頂付近からふもとまでひろく分布しますが、特に男池の周辺や黒岳でたくさんの種類が見られます。

くじゅうならではの紅葉といえばドウダンツツジのなかま。シロドウダン、ベニドウダン、ツクシドウダンなど、オレンジから赤に山肌を彩ります。大船山など標高の高いところで群生して特に目立ちます。

独特な紅葉が楽しめるのはニシギギ科の樹木。漢字で「錦木」と書くくらい、秋の美しさは定評があり、ツルウメモドキ、ツリバナなど花も実も風情があります。山中の開けた場所に点在するマユミは、十一月にかけてピンクく赤の実がとも目立ちます。



カエデのなかまの葉の形や紅葉の色合いはさまざま。くじゅうでよく見られるものを6種類紹介しましょう。

右の①は「コハウチワカエデ(小羽団扇楓)」真つ赤に色づくうちわ型のかわいらしい葉が特徴的です。②は「イタヤカエデ(板屋楓)」葉のへりは波打つことはあってもこぎりのようなギザギザがないことが特徴です。黄色っぽい紅葉が多いですね。



中の③は「カジカエデ(梶楓)」カナダの国旗を思い起こさせる端正な形です。黄色く色づきます。④は「コミネカエデ」

(小峰楓)「その名の通り尾根筋にも多く、濃い赤に紅葉してキレイです。

左の⑤は「チドリノキ(千鳥の木)」一見カエデには見えない形ですが、葉が対生する(向かい合ってつく)ことでわかります。黄色になり、赤くなることはまずありません。左下⑥は「ウリハダカエデ(瓜肌楓)」紅葉は赤から黄色まで、条件によっていろいろ。葉の大きさもいろいろ。ぜひ全部見つけてみてください！

